

第 24 回 幹 事 会

平成 1 8 年 9 月 2 1 日

日 本 学 術 会 議

配布資料

- 資料 1 議事次第
 - 資料 2 出席者一覧
 - 資料 3 非公開審議事項
 - 資料 4 第22回、第23回幹事会議事要旨
 - 資料 5 諸報告事項
 - 資料 6 審議事項
 - 資料 7 科学者の行動規範について（声明）（案）
-
- 参考 1 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2006
「グローバル・イノベーション・エコシステム」結果概要
 - 参考 2 平成19年度日本学術会議概算要求額
 - 参考 3 日本学術会議第149回総会日程概要（案）
 - 参考 4 日本学術会議における今後の予定

第 24 回幹事会議事次第

日 時 平成 18 年 9 月 21 日 (木) 14:00 ~

- 議 題 非公開審議事項
- 1 総会人事案件
 - ・ 補欠の会員候補者の選考 (総会) (提案 1)
 - 2 委員会関係
 - ・ 国際委員会における分科会、小分科会の設置及び分科会の委員の決定 (提案 2)
 - ・ 分野別委員会における分科会、小委員会の設置等及び分科会の委員の決定 (提案 3)
 - ・ 研究評価の在り方検討委員会の委員の決定 (提案 4)

3 「総会での投票」に付する会長候補者決定の報告

前回幹事会以降の諸報告

審議事項

- 1 総会案件
 - ・ 科学者の行動規範 (声明) (提案 5)
- 2 一部改正等
 - ・ 日本学術会議の意思の表出における取扱要領 (提案 6)
 - ・ 科学者委員会運営要綱 (提案 7)
 - ・ 日本学術会議協力学術団体の指定 (提案 8)
- 3 代表派遣関係
 - ・ 平成 18 年 10 月追加分 (提案 9)
 - ・ 変更 (提案 10)
- 4 日本学術会議主催公開講演会「博物館が危ない! 美術館が危ない!
- 指定管理者制度・公共サービス改革法の落とし穴 -」の開催 (提案 11)
- 5 委員会主催シンポジウム等
 - ・ シンポジウム「ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来」の開催 (提案 12)
- 6 国内会議の後援 (提案 13)

その他

資料 2

第 2 4 回 幹事会 (9 月 2 1 日) 出席者一覧

会長代行 大 垣 眞一郎

副会長 石 倉 洋 子

第一部 部長 広 渡 清 吾

 副部長 佐 藤 学

 幹事 鈴 村 興太郎

第二部 部長 金 澤 一 郎

 幹事 廣 橋 説 雄

 幹事 鷺 谷 いづみ

第三部 部長 海 部 宣 男

 副部長 土 居 範 久

 幹事 河 野 長

 幹事 小 林 敏 雄

科学者の行動規範に関する検討委員会

副委員長 笠 木 伸 英

事務局 西ヶ廣 局 長

諸 報 告 事 項

第1	前回幹事会以降の経過報告	P. 1
1	会長の退任	P. 1
2	会長代行の指名	P. 1
3	審議付託等	P. 1
4	賞等の推薦	P. 1
5	国際会議の開催	P. 2
6	委員会委員の辞任	P. 2
第2	各部・各委員会等報告	P. 3
1	幹事会附置委員会の開催とその議題	P. 3
2	機能別委員会の開催とその議題	P. 3
3	分野別委員会の開催とその議題	P. 4
4	課題別委員会の開催とその議題	P. 6
第3	総合科学技術会議報告	P. 8

第1 前回幹事会以降の経過報告

1 会長の退任等

平成18年9月10日、黒川会長（第二部会員）が定年により退任され、翌11日付けで連携会員に就任された。

2 会長代行の指名

会長が海外出張につき、日本学術会議法第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり会長代行を指名した。

9月11日より新会長選出まで 大垣副会長
ただし、大垣副会長の海外出張等期間における会長代行は、次の順位で定める。
第一位 石倉副会長
第二位 浅島副会長

3 審議付託等

件名	申請者	審議・付託先
第32回全国語学教育学会年次国際大会の後援について	特定非営利活動法人 全国語学教育学会代表者	第一部
第27回日本肥満学会市民公開講座の後援について	第27回日本肥満学会組織委員会 会長	第二部
第21回日本がん看護学会学術集会・日本がん看護学会第2回国際学術集会合同大会の後援について	第21回日本がん看護学会学術集会会長 日本がん看護学会第2回国際学術集会会長	第二部
第11回人と動物に関する国際会議（IAHAIO 東京大会）の後援について	IAHAIO 東京大会実行委員会 委員長	第二部

4 賞等の推薦

件名	照会先	備考
FYSSSEN 財団国際賞	各部	推薦見送り
第12回日経アジア賞	各部	推薦見送り
世界食糧賞	各部	照会中
2007年（第18回）及び2008年（第19回）福岡アジア文化賞	各部	照会中
カブリ財団による合意書の合意及び委員会委員	各部	照会中
日本国際賞推薦有資格者	各部	照会中

5 国際会議の開催

開催日	会議名	会場
8月20日～ 8月25日	第17回磁性国際会議（開会式：黒川会長出席）	国立京都国際会館
8月28日～ 9月1日	2006年国際サイコセラピー会議 イン・ジャパンおよび第3回アジア国際 サイコセラピー会議 （開会式：黒川会長出席）	京王プラザホテル
9月3日～ 9月8日	第16回国際顕微鏡学会議 （開会式：黒川会長出席）	札幌コンベンションセンター、札幌コンサートホール Kitara

6 委員会委員の辞任

日本学術会議会則第28条第2項の規定により、下記委員会等に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

第20期	日本学術会議中国・四国地区会議会員	河野 長（9月2日付け）
		秋田喜代美（ " ）
	言語・文学委員会委員	桜井万里子（8月28日付け）
	物理学委員会委員	永原 裕子（9月 7日付け）
	情報学委員会委員	長島 昭（ " ）
	化学委員会委員	永原 裕子（ " ）
	電気電子工学委員会URSI分科会委員	井筒 雅之（ " ）

第2 各部・各委員会等報告

1 幹事会附置委員会の開催とその議題

- (1) 会長候補者推薦委員会(第4回)(9月14日)
会長候補者推薦リストの決定 その他

2 機能別委員会の開催とその議題

- (1) 企画委員会年次報告等検討分科会(第3回)(8月30日)
年次報告書の分科会案の決定 その他
- (2) 企画委員会(第9回)、年次報告等検討分科会(第4回)(9月5日)
(日本学術会議の活動に関する外部評価委員による意見聴取)
外部評価 その他
- (3) 選考委員会(第13回)(9月21日)
前回議事要旨の確認 補欠会員の選考
- (4) 科学者委員会(第10回)(9月13日)(持ち回り開催)
日本学術会議協力学術研究団体の指定(回答)
- (5) 科学者委員会(第11回)(9月19日)
日本学術会議協力学術研究団体規程の改定(案)及び同団体の指定に係る必要な要件及び手続(案)の検討 学協会の機能強化方策検討等分科会設置について
九州・沖縄地区学術講演会の開催について
- (6) 国際委員会(第8回)(9月19日)
日本・モンゴル二国間学術交流事業(報告) 持続可能なための科学と技術に関する国際会議2006(報告) 平成18年度共同主催国際会議(報告) AASSREC理事会(報告) 代表派遣 日米安全・安心イニシアティブ 加入国際学術団体の見直し その他
委員長総括
- (7) 中国・四国地区会議(9月2日)
平成18年度事業計画について 平成18年度予算案について 地区会議ニュースの発行について その他
日本学術会議中国・四国地区会議主催学術講演会
「科学技術と日本の未来」

3 分野別委員会の開催とその議題

第一部関係

- (1) 言語・文学委員会(第6回)(8月28日)
言語・文学分野関連学会の連絡協議会(仮称)設立の可能性について 今後の活動方針について その他
- (2) 史学委員会 I U O A S 分科会(第3回)(8月31日)
I C A N A S 小委員会の役員の選出 今後の活動方針 その他
- (3) 地域研究委員会・環境学委員会合同 I H D P 分科会(第2回)(9月5日)
委員の追加推薦について 委員の役割分担について 国際対応について
今年度の活動計画について 次回分科会日程について その他

第二部関係

- (1) 健康・生活科学分科会 子どもの健康分科会(第2回)(8月25日)
「子どもの健康」の現状と課題について 今後の進め方とスケジュールについて
て 第二次連携会員の本分科会への所属について その他
- (2) 生産農学委員会 畜産学分科会(第2回)(8月28日)
分科会の副委員長、幹事(2名)の選出について シンポジウムの開催について
て 畜産学分科会の活動 その他
- (3) 臨床医学委員会 臨床系大学院分科会(第1回)(8月30日)
委員長、副委員長、幹事の選出について 今後の活動方針について その他
- (4) 基礎医学委員会 神経科学分科会(第1回)(9月1日)
委員長、副委員長、幹事の決定について 今後の活動方針について 「脳と
こころ」分科会との合同分科会開催について 「脳神経科学推進ロードマップ(戦
略目標およびタイムテーブル)」見直し作業について その他
- (5) 歯学委員会(第6回)(9月4日)
今後の活動計画 その他
- (6) 歯学委員会 歯学教育分科会(第1回)(9月4日)
今後の活動計画 その他
- (7) 歯学委員会 基礎系歯学分科会(第1回)(9月4日)
今後の活動計画 その他
- (8) 歯学委員会 臨床系歯学分科会(第1回)(9月4日)
今後の活動計画 その他

- (9) 歯学委員会 病態系歯学分科会 (第1回)(9月4日)
今後の活動計画 その他
- (10) 健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 禁煙社会の実現分科会
(第3回)(9月4日)
日本学術会議敷地内禁煙にむけての企画委員会提案の結果について 厚生労働省健康局 山本たばこ対策専門官との意見交換 今後の活動方針について 次回分科会日程について その他
- (11) 生産農学委員会 人と動物の関係分科会の開催について (第2回)(9月4日)
分科会の副委員長、幹事(2名)の選出について 分科会の活動について
その他
- (12) 臨床医学委員会 医療制度分科会 (第1回)(9月6日)
委員長、副委員長、幹事の選出について 分科会での審議事項について
分科会の事業(シンポジウムの開催など)について その他
- (13) 健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会 (第2回)(9月7日)
本分科会の活動計画
・ 関連分野の研究の加速度的推進に関して
・ 科学的成果の蓄積と実践現場への学問の還元方策
・ 文理を結合した学問の発展方策
連携会員の本分科会委員への推進について その他
- (14) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・生産農学委員会・基礎医学委員会・
臨床医学委員会・薬学委員会合同 実験動物分科会 (第1回)(9月11日)
委員長、副委員長、幹事の選出について 今後の活動について その他
- (15) 生産農学委員会 農学教育分科会の開催について (第2回)(9月11日)
課題審議 その他
- (16) 臨床医学委員会・薬学委員会合同 臨床試験・治験推進分科会
(第2回)(9月12日)
万有製薬株式会社 高橋希人 副社長、
三共株式会社 藤枝 徹 臨床開発部長 からのヒアリング その他
- (17) 臨床医学委員会 感覚器分科会 (第1回)(9月15日)
委員長、副委員長、幹事の決定について 今後の活動方針について その他

第三部関係

- (1) 土木工学・建築学委員会 建設と社会分科会 (第1回)(9月4日)
委員長、幹事の選出 今後の活動方針 その他

- (2) 情報学委員会 ユビキタス空間情報社会基盤分科会 (第 1 回)(9 月 5 日)
委員長等の選出について 今後の活動方針について その他
- (2) 機械工学委員会 拡大役員会 (第 1 回)(9 月 7 日)
連携会員を含めた今後の活動方針について その他
- (3) 数学委員会 数理統計学分科会 (第 1 回)(9 月 7 日)
委員長及び幹事の選出について 今後の活動について その他
- (4) 土木工学・建築学委員会 拡大役員会 (第 5 回)(9 月 1 1 日)
9 月 2 6 日開催土木工学・建築学委員会について その他
- (5) 地球惑星科学委員会 (第 9 回)(9 月 1 2 日)
連携会員を含めた今後の活動方針について その他
- (6) 物理学委員会 IAU 分科会 (第 3 回)(9 月 1 9 日)
惑星の定義に関する今後の対応について その他
- (7) 物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会 (第 1 回)(9 月 1 9 日)
惑星の定義に関する今後の対応について その他

4 課題別委員会の開催とその議題

- (1) 科学者の行動規範に関する検討委員会 (第 7 回)(8 月 2 5 日)
科学者の行動規範について その他
- (2) 科学者コミュニティと知の統合委員会 (第 3 回)(8 月 2 8 日)
学問論、学としての理念の統合、学術の在り方について
(吉川弘之氏、石井紫郎氏、浅島 誠氏からの意見)
今後の進め方について その他
- (3) 学術とジェンダー委員会 (第 7 回)(8 月 2 9 日)
本委員会の報告書等について シンポジウムについて その他
- (4) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会
地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会 (第 3 回)(8 月 3 1 日)
佐竹委員からの報告 真木委員からの報告 その他
- (5) 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会 (第 4 回)(9 月 4 日)
シンポジウムについて その他
- (6) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会

災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会
(第3回)(9月5日)
中央防災会議における取組について その他

(7) 教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会(第5回)(9月6日)
教師の科学的教養 中間報告について その他

(8) 科学者コミュニティと知の統合委員会 役員会(第3回)(9月8日)
報告書の構成について 今後の進め方について その他

(9) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会
地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会(第4回)(9月11日)
広域震災想定シミュレータの開発について(市村委員からの報告)
報告書目次案について その他

(10) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会
拡大役員会(第3回)(9月14日)
各分科会からの報告 報告書の構成について その他

(11) ヒト由来試料・情報を用いる研究に関する生命倫理検討委員会
(第4回)(9月19日)
報告書案について その他

(12) 学術・芸術資料保全体制検討委員会(第5回)(9月20日)
報告書構成案について 公開講演会について その他

第3 総合科学技術会議報告

1 本会議

*第58回

8月31日

(1) 公的研究費の不正使用等の防止に関する取組について(共通的な指針)

2 専門調査会

*第58回評価専門調査会

9月13日

(1) 総合科学技術会議が行う国家的に重要な研究開発の評価の実施について

(2) その他

3 総合科学技術会議有識者議員会合

・9月7日

・9月14日

・9月21日

審 議 事 項

提案 5	科学者の行動規範(声明)(総会)	P. 1
提案 6	日本学術会議の意思の表出における取扱要領の一部改正	P. 2
提案 7	科学者委員会運営要綱の一部改正	P. 4
提案 8	日本学術会議協力学術団体の指定	P. 7
提案 9	平成 18 年度代表派遣(平成 18 年 10 月追加分)	P. 8
提案 10	平成 18 年度代表派遣の変更	P. 10
提案 11	日本学術会議主催公開講演会「博物館が危ない!美術館が危ない! - 指定管理者制度・公共サービス改革法の落とし穴 -」の開催	P. 12
提案 12	シンポジウム「ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来」の開催	P. 14
提案 13	国内会議の後援	P. 15

5	
幹事会	24

提 案（総会）

「科学者の行動規範について（声明）」

- 1 提案者 科学者の行動規範に関する検討委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 本委員会のこれまでの審議結果を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第三号の
「声明」として取り扱うこと

6	
幹事会	24

提 案

日本学術会議の意思の表出における取扱要領の一部改正

- 1 提 案 者 科学と社会委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。
- 3 提案理由 日本学術会議が行う意思の表出等について、その取り扱いを一部改正する必要があるため。

7	
幹事会	24

提 案

科学者委員会運営要綱の一部改正について

- 1 提 案 者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。
- 3 提案理由 学協会の機能強化方策検討等分科会の設置に伴い、運営要綱を一部改正する必要があるため。

科学者委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改正後	改正前															
<p>第1（略）</p> <p>（分科会）</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">分科会</th> <th style="text-align: center;">調査審議事項</th> <th style="text-align: center;">構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">（略）</td> <td style="text-align: center;">（略）</td> <td style="text-align: center;">（略）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>学協会の機能強化 方策検討等分科会</u></td> <td style="text-align: center;"><u>学協会の機能強化に 資する方策の検討等 に関すること</u></td> <td style="text-align: center;"><u>各部の2名以内の会 員及び委員会の委員 3名以内並びに幹事 会が必要と認める会 員または連携会員若 干名</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>第3、第4（略）</p>	分科会	調査審議事項	構成	（略）	（略）	（略）	<u>学協会の機能強化 方策検討等分科会</u>	<u>学協会の機能強化に 資する方策の検討等 に関すること</u>	<u>各部の2名以内の会 員及び委員会の委員 3名以内並びに幹事 会が必要と認める会 員または連携会員若 干名</u>	<p>第1（略）</p> <p>（分科会）</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">分科会</th> <th style="text-align: center;">調査審議事項</th> <th style="text-align: center;">構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">（略）</td> <td style="text-align: center;">（略）</td> <td style="text-align: center;">（略）</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔1つの分科会を加える。〕</p> <p>第3、第4（略）</p>	分科会	調査審議事項	構成	（略）	（略）	（略）
分科会	調査審議事項	構成														
（略）	（略）	（略）														
<u>学協会の機能強化 方策検討等分科会</u>	<u>学協会の機能強化に 資する方策の検討等 に関すること</u>	<u>各部の2名以内の会 員及び委員会の委員 3名以内並びに幹事 会が必要と認める会 員または連携会員若 干名</u>														
分科会	調査審議事項	構成														
（略）	（略）	（略）														

改正前欄の〔 〕内の字句は、注記である。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

科学者委員会分科会の設置について

分科会等名：学協会の機能強化方策検討等

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	各部の2名以内の会員及び委員会の3名以内の委員並び幹事会が必要と認める会員または連携会員若干名
3	設置目的	<p>学協会は、研究成果の発表、知識の交換、研究者相互及び国内外の学協会との連絡提携の場として、大学等の研究機関を越えて我が国の研究活動を支える存在である。</p> <p>このことから、「第3期科学技術基本計画」では、我が国の科学技術の国際的地位を向上させるためには、これらの学協会の自己改革を促し、機能を強化する必要性が指摘されるとともに、社会への貢献など広がりのある活動が期待されている。また、地球規模で深刻さを増しているエネルギー問題や環境問題などについては、学問分野の枠を超えた国際的な協力に基づく取り組みが必要とされており、学協会に求められる役割はますます大きくなっている。</p> <p>しかしながら、現状は、分野によっては、学協会が分立し、学協会間の連携がうまく図られていないとの指摘や、規模が小さいために活発な活動を支える事務局体制が十分整っていないものもあるという指摘がある。また、民法に基づく公益法人として活動の基盤を確立させている学協会もあるが、今般の公益法人制度改革により、適正な運営を行うために管理部門の効率的かつ機能的な運営が求められている。さらには、研究情報の発信・流通が急速にグローバル化し、研究成果の発表における国内学協会離れ等が懸念されている。</p> <p>以上の背景から、今後、学協会が、その役割を果たして行くためには、第三期科学技術基本計画などにおいて、学協会の機能強化のための自己改革の必要性が指摘されているところであり、本分科会においては、こうした学協会の自己改革に向けた検討に資する方策を示すことを目的として審議を行う。</p>
4	審議事項	<p>まず、悉皆的なアンケート調査や、ケーススタディーとなる学協会からのヒアリングを行うことにより、学協会の実態を把握するとともに、高い情報発信力を有する欧米の学協会の実態についても調査を行う。</p> <p>その上で、我が国の学協会の活発な活動を促進するために必要な方策の枠組みを検討し、学協会に対して情報の提供を行う。</p>
5	設置期間	<p>時限設置 年 月 日～ 年 月 日</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">常設</p>
6	備考	

8	
幹事会	24

提 案

日本学術会議協力学術研究団体の指定について

1. 提 案 者 会 長
2. 議 案 日本学術会議協力学術研究団体の審査結果を回答すること
3. 提 案 理 由 日本学術会議協力学術研究団体への新規申し込みのあった団体について、
科学者委員会の意見に基づき、下記のとおり回答することとしたい。

記

指定することを適当と認める

(申請団体名)

日本食品工学会

中国経済学会

日本生涯スポーツ学会

日本臨床死生学会

コ・メディカル形態機能学会

関西ベンチャー学会

日本養護教諭教育学会

有限責任中間法人 日本ミトコンドリア学会

景気循環学会

日本災害看護学会

国際ボランティア学会

日本ウィリアム・フォークナー協会

日本学校メンタルヘルス学会

皇學館大学人文学会

日本歯学系学会連絡協議会

特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合

日本健康相談活動学会

9	
幹事会	24

提 案

平成18年度代表派遣（平成18年10月追加分）

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり実施すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第19条の規定に基づくものである。

<参考> 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」(抄)

(派遣者の選考)

- 第19条 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。
- 2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の1か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

番号	国際会議等	派遣日数		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
		会期分	計			
59	世界工学団体連盟(WFEO)理事会	10月17日 ~ 10月19日	3日	シカゴ 米国	石井 弓夫 特任連携会員 株式会社建築技術研究所代表取締役会長	総合工学委員会・土木工学建築学委員会合同 WFEO分科会 第2区分

10	
幹事会	24

提 案

平成18年度代表派遣の変更

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり変更すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第21条第2項及び附則第3項の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣実施計画の変更等）

- 第21条 関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画若しくは派遣者の変更をすべき事情が生じた場合は、その理由を付して速やかに会長に通知しなければならない。
- 2 会長は、前項の規定による通知があった場合は、理由を付して改めて幹事会の承認を得るものとする。ただし、やむを得ない事由により事前に幹事会の承認が得られない場合は、事後に追認を求めるものとする。

附 則

- 3 平成18年度国際学術交流代表派遣実施計画に係る代表派遣については、なお従前の例による。

別紙

会議名称	派遣期間(会期分)	開催地	派遣者	変更内容	変更理由
気候変動国際協同研究計画(WCRP)第14回 SPARCサイエンス代表グループ会議	10月9日~12日	ポールダー (米国)	林田佐智子	派遣者の辞退	派遣者の都合のため
国際社会科学団体連盟(IFSSO)	10月10日~14日 10月11日~14日	タガヤタイシティ (フィリピン)	西原和久	派遣期間の変更	派遣者の都合のため
国際純粋・応用物理学連合(IUPAP)理事会	10月13日~14日	プラハ (チェコ)	潮田資勝	派遣者の辞退	派遣者の都合のため

1 1	
幹事会	2 4

提案

日本学会議主催公開講演会 「博物館が危ない！ 美術館が危ない！
指定管理者制度・公共サービス改革法の落とし穴 - 」の開催について

1. 提案者 科学者委員会委員長
2. 議案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

1. 主催 日本学会議
2. 後援 日本考古学協会、日本古生物学会、日本自然史学会連合、(社)日本植物学会、(社)日本動物学会、日本動物分類学会、(財)日本博物館協会、日本分類学会連合、日本民具学会、日本民俗学会、美術史学会、北海道大学 21 世紀 COE 「新自然史創造」(予定)
3. 日時 平成 18 年 1 月 4 日(土) 13:00 ~ 17:00
4. 場所 東京大学理学部小柴ホール
(東京大学文京区本郷 7 - 3 - 1 東京大学本郷キャンパス)
5. 趣旨
「簡素で効率的な政府・地方自治体」を目指す市場化テスト(官民競争入札)や指定管理者制度が広く導入される中で、博物館・美術館が、いま大きな危機に立たされています。博物館・美術館は、単純に効率的なサービスという観点からだけで運営されてよいのでしょうか。国公立の博物館・美術館にとって、それを利用する市民にとって「国民の立場に立ったより良質かつ低廉なサービスの実現」とは何なのでしょう。

学術・芸術資料は、人類文化の創造と学術研究の発展に等しく役割を果たす基盤的な文化資源であり、次世代に継承されるべき重要な遺産です。日本学会議は、その保存・管理体制が、経済効率優先の対象とされつつある現状に強

い危機感を抱いています。公共サービス機関としての博物館・美術館の本質的な役割に焦点を当て、その望ましい在り方を共に探るため、本公開講演会を開催するものです。

6. プログラム

(委員会の開催)

11:30～12:30 学術・芸術資料保全体制検討委員会

(公開講演会)

13:00 開会・メッセージ

日本学術会議会長(予定)

平山 郁夫(画家)

13:10 提題

青柳 正規(日本学術会議会員、学術・芸術資料保全体制検討委員会委員長、国立西洋美術館館長)

13:20 講演

前沢 和之(日本学術会議特任連携会員、横浜市歴史博物館学芸課長)

「博物館への指定管理者制度導入の現状と問題点」(仮題)

樺山 紘一(日本学術会議会員、印刷博物館館長)

「ミュージアムと人文科学資料」(仮題)

馬渡 駿介(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院理学研究科教授)

「博物館における自然科学資料の本質」(仮題)

井上 洋一(日本学術会議連携会員、東京国立博物館事業部教育普及課課長)

「博物館におけるサービスの本質と将来ビジョン」(仮題)

白藤 博行(日本学術会議連携会員、専修大学法学部教授)

「博物館・美術館と学術・文化行政の公共性」(仮題)

15:30 討論・提言にむけて

司会 前田富士男(日本学術会議会員、慶應義塾大学文学部教授)

司会 木下 尚子(日本学術会議会員、熊本大学文学部教授)

前沢 和之(同 上)

樺山 紘一(同 上)

馬渡 駿介(同 上)

井上 洋一(同 上)

白藤 博行(同 上)

16:50 総括・閉会挨拶

木下 尚子(同 上)

17:00 閉会

13	
幹事会	24

提 案

国内会議の後援

- 1 提案者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

後援する

名 称 等	申 請 者	審議付託先
男女共同参画学協会連絡会第四回シンポジウム 主催：男女共同参画額協会連絡会 会期：平成 18 年 10 月 6 日 場所：東京大学山上会館	男女共同参画学協会 連絡会第 4 期委員長	第二部 第三部
日本社会学会シンポジウム「人口減少社会のゆくえ」 主催：日本社会学会 会期：平成 18 年 10 月 29 日 場所：立命館大学	日本社会学会会長	第一部 第二部
第 27 回日本肥満学会市民公開講座 主催：第 27 回日本肥満組織委員会 会期：平成 18 年 10 月 28 日 場所：神戸ポートピアホテル	第 27 回日本肥満組織 委員会会長	第二部

平成19年度 日本学術会議概算要求額

平成18年8月31日

事 項	前 年 度 予 算 額	平成19年度 概算要求額	対前年度 比 較 増 減 額	備 考
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	
日本学術会議の運営に必要な経費	1,319	1,436	117	対前年度比 108.9%
1. 審議関係費	329	324	5	
(1)審議関係費	107	106	2	・ 総会、部会経費等
(2)分野別審議	167	162	6	・ 分野別委員会
(3)課題別審議	34	35	1	・ 課題別委員会（10テーマ）
その他の事項	21	22	1	・ 移転等準備委員会等
2. 国際学術交流関係費	348	422	74	
(1)国際会議(国内開催)	118	127	9	・ 19年度開催 8会議 20年度開催準備 8会議
(2)国際分担金	96	102	6	・ 単位数等の変更（20団体）
(3)代表派遣	47	47	0	・ アメリカ、フランス、イギリス、ドイツ 他4カ国
(4)二国間交流	5	8	3	・ 南アフリカ
(5)アジア学術会議	31	42	11	・ 開催地（日本）
(6)国際シンポジウム	41	41	1	・ 「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」 - 経済社会的価値の創出へ 科学技術の新たな挑戦 -
(7)G8学術会議	8	54	46	・ 毎年のG8サミットに向けて発出する共同声明に係る基本調査報告書の作成、シンポジウムの開催及びG8学術会議の日本開催のために必要な経費
3. 会員推薦関係費	9	9	0	
(1)選考委員会	9	9	0	・ 選考委員会
4. 外部評価委員会経費	1	1	0	・ 総合科学技術会議の意見具申を踏まえた外部評価の導入
5. 一般事務処理経費	632	680	48	
(1)人件費	452	443	10	・ 定員59名（定削1名、増員1名）
(2)地方活動の充実強化	11	55	44	・ サイエンスカフェ実施経費、各地区会議及び地方連絡委員会開催経費等
(3)地域振興フォーラム	10	0	10	
(4)公開講演会	3	4	0	
(5)情報化推進経費	26	19	7	
その他の事項	130	160	30	・ その他事務費等（備品更新経費等）

（注）計数は原則四捨五入によっているため、合計とは合致しないものがある。

平成19年度概算要求の重点事項

日本学術会議の19年度は、我が国科学者コミュニティの代表機関として、科学に関する国際学術活動の強化、発信機能の強化、政策提言機能の充実を十分に果たすため、所要の予算要求を行う。

19年度要求額:1,436百万円、18年度予算額:1,319百万円、117百万円の増

1. 国際学術活動の強化

各国の学術団体及び科学者との連携活動の強化。特に、アジア学術会議の日本開催経費(11百万円の増)並びにG8学術会議の日本開催経費及び共同声明発出の基礎資料を得るための調査経費(46百万円の増)

2. 発信機能の強化

高度化し、かつ進化する学術活動について、国民に分かりやすい形で発信。特に、地域レベルにおけるサイエンスカフェの実施(31百万円の新規)及び地区別学術講演会の充実強化(16百万円の増)

3. 政策提言機能の充実

政府及び社会に対し、長期的、総合的、国際的な観点から、科学者の視点に立って政策提言を行うための経費(分野別審議、課題別審議など)。

今後の予定

(1) 幹事会

第25回幹事会	平成18年10月 2日(月) 17:30から
第26回幹事会	平成18年10月 3日(火) 12:00から
第27回幹事会	平成18年10月 4日(水) 16:00から
第28回幹事会	平成18年10月26日(木) 14:00から
第29回幹事会	平成18年11月22日(水) 14:00から
第30回幹事会	平成18年12月21日(木) 14:00から
第31回幹事会	平成19年 1月25日(木) 14:00から
第32回幹事会	平成19年 2月22日(木) 14:00から
第33回幹事会	平成19年 3月22日(木) 14:00から
第34回幹事会	平成19年 4月 9日(月) 総会終了後
第35回幹事会	平成19年 4月10日(火) 総会終了後
第36回幹事会	平成19年 4月11日(水) 委員会終了後

(2) 部 会

- ・ 平成18年10月 2日(月) 3日(火)

(3) 連合部会

- ・ 平成19年 2月13日(火)

(4) 総 会

- 平成18年10月 2日(月)から 4日(水)まで [秋の定例総会]
- 平成19年 4月 9日(月)から11日(水)まで [春の定例総会]